

1. 件名：「日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所再処理廃止措置技術開発センター及びプルトニウム燃料技術開発センターとの計量管理に関する面談」

2. 日時：2023年7月31日（月）11時05分～12時05分

3. 場所：原子力規制庁保障措置室会議室（Web会議）

4. 出席者

原子力規制庁

放射線防護企画課 保障措置室	副首席査察官	株木 俊英
	査察専門職	鈴木 実
	査察専門職	池亀 功
	計量管理専門職	呉屋 祐喜

日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所

再処理廃止措置技術開発センター技術部 核物質管理課長 他4名

プルトニウム燃料技術開発センター技術部 核物質管理課マネージャー 他3名

5. 要旨

- (1) 日本原子力研究開発機構核燃料サイクル工学研究所再処理廃止措置技術開発センターからスラッジに対する新規測定手法の導入に関して、当該方法・機器の名称を使用するにあたり既存の各主要測定点の目的及び方法・機器の表現の相談を受けた。
- (2) プルトニウム燃料技術開発センターから第三ウラン貯蔵庫の計量管理規定への新規追加に関して、核燃料物質計量管理区域の範囲等について記載内容の相談を受けた。併せて、既存の核燃料物質計量管理区域の範囲に記載されている区域の記載内容の相談を受けた。
- (3) 事業者は相談の結果を受け、記載内容を検討することとなった。
- (4) 計量管理規定改定の申請に関しては、再処理廃止措置技術開発センター及びプルトニウム燃料技術開発センターが同時期に核燃料サイクル工学研究所として一つにとりまとめ8月中旬を目安に実施する予定であると説明を受けた。

6. その他

配布資料

- (1) 米国との共同研究に係る計量管理規定（スラッジに対する新規測定手法）
- (2) 第三ウラン貯蔵庫の運用開始に係る計量管理規定（施設名称の追記）